

コーパスに基づく認知的構文研究

名古屋大学大学院・国際言語文化研究科・応用言語学講座
第8回公開講演会

講師

李在鎬先生
(筑波大学・人文社会系・准教授)

日時

2011年12月2日(金) 午後4時半～6時

会場

全学教育棟・北棟406室

本講演では、コーパスに基づく文法研究の論点を整理する3つの視点について紹介する。1) 運用の一般化としての文法記述、2) 多様性を重視した文法記述、3) グレディエンスとしての文法記述である。これらの考え方を踏まえた上で、認知言語学の用法基盤モデルの関連性についても論じる。そしてコーパスに基づく文法研究のケーススタディとして李(2011)が行った名詞の意味的特徴を取り入れた構文研究モデルについて紹介する。

来訪歓迎・申し込み不要

連絡先: 堀江薫教授(horieling@gmail.com)